

高知県学校体育保健研究連合会

1. 本会の活動概要

(1) 目的

学校体育保健に関する研究と指導者の資質の向上ならびに研究諸団体の連携を図り、高知県の学校体育保健の振興に寄与することを目的としている。

(2) 組織

昭和36年に設立され、毎年11月に小・中・高等学校の系統的な研究会を開催している。また本会は、小学校体育連盟、中学校体育連盟、高等学校体育連盟、大学、県内教育機関、県教育委員会及び各市町村教育委員会で構成されている。

本会には、次の役員をおいている。

顧問若干名、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長1名、常務理事若干名、理事若干名、会計1名、監事2名。

(3) 主な事業

- ① 学校体育保健に関する研究調査
- ② 学校体育保健に関する研究団体やサークルの育成と相互の連絡提携
- ③ 学校体育保健に関して顕著な業績をあげた学校・サークル・個人の表彰
- ④ その他本会の目的を達成するために必要な事業

2. 平成28年度の活動の紹介

(1) 会議の開催

期 日	会 議	内 容
5月17日	第1回事務局会	① 理事総会 ② 第1回常務理事会
6月14日	理事総会	① 前年度事業・決算報告 ② 本年度事業・予算計画
	第1回常務理事会 第1回表彰委員会	① 学校体育保健研究大会（安芸大会） ② 県表彰及び全国表彰
8月8日	第2回常務理事会	① 学校体育保健研究大会（安芸大会） ② 表彰
10月4日	第2回表彰委員会	① 県表彰 ② 全国表彰
10月11日	第2回事務局会	① 学校体育保健研究大会（安芸大会） ② 広告
10月25日	第3回常務理事会	① 学校体育保健研究大会（安芸大会）

		② 全国学体研研究大会への参加 ③ 県学校体育保健研究大会（高知大会）
1月31日	第4回常務理事会	① 安芸大会の総括 ② 平成29年度理事総会に向けて ③ 高知大会 ④ 全国表彰・県内表彰

（2）研究大会の開催

研究大会は、県内を5つに区分された各地区が輪番で担当し、毎年1回開催している。研究大会は、全体行事と研究発表を基本的構成として実施している。全体行事では表彰や講演等が行われ、研究発表では公開授業と校種ごとの研究協議会が行われている。公開授業において、各校種が順に公開する提案授業を参加者全員が一同に参観するところが特徴的である。

平成28年度「第55回高知県学校体育保健研究大会（安芸大会）」の紹介

平成28年11月25日（金）、室戸高等学校・室戸保健福祉センターやすらぎを会場に開催され、「児童・生徒の発達段階に応じた学び合い、高め合う楽しい体育学習の創造」の主題の下、各校種別副題を設定。小学校・中学校・高等学校の順で授業を公開した後、校種別に研究協議会が行われた。



全体行事においては、オリンピックメダリストの山本博氏を招き、「メダリストからのメッセージ ～夢をあきらめない～」と題した講演が行われた。

本研究大会には、204名の一般参加者（小学校39名、中学校101名、高等学校27名、その他37名）があった。

1）平成28年度体育功労者表彰・特別表彰

高知県学校体育保健研究連合会表彰

特別表彰 平成27年度 第54回 高知県学校体育保健研究大会
香長土大会 実行委員会

特別功労者表彰 高知大学名誉教授 刈谷 三郎 氏

2）講演

演 題 「メダリストからのメッセージ ～夢をあきらめない～」

講 師 山本 博氏 日本体育大学 体育学部教授 博士（医学）

アテネオリンピック アーチェリー銀メダリスト

ロサンゼルスオリンピック アーチェリー銅メダリスト

〔参加者の感想〕

- ・オリンピックメダリストの講話を聞ける貴重な場面を設定してもらって良かった。

- ・指導者に対しても、大変参考になる話しや考えるべき内容などもあり有意義な話しを聞くことができて本当に良かった。
- ・講演内容が分かりやすく、メッセージ性があり良かったと思う。

3) 研究発表

① 小学校

〔研究テーマ〕「運動好きな子どもを育てる体育学習」

～子どものイメージと動きをつなげる体育学習～

〔公開授業〕学年：3・4年生

領域：表現運動 単元名：「たんけんに行こう」

〔助言者〕山田敦子（高知大学名誉教授）

〔研究協議会での発言〕

- ・子どもの表情も良いし、普段の学級経営の良さが表れている授業であった。
- ・話し合い活動では、子どもたちの関わりが良い感じにできていて、アットホームな感じで楽しみながら体全体で表現運動ができていた。
- ・自分の言葉で会話できたり、アイコンタクトができたりと、子どもの育っている姿が見えた授業だった。
- ・副読本「わたしたちの体育」の動きを取り入れられていた。
- ・最後にカードを3枚選んで表現活動を行ったが、別々の表現になったのではないか。そのつながりはどうだったのか。



② 中学校

〔研究テーマ〕「生徒が学び合い、高め合う楽しい体育授業の創造」

～運動の楽しさや喜びを味わいながら

自主的な実践力を身につける体育学習～

〔公開授業〕学年：1年生

領域：球技 単元名：「ソフトボール」

〔助言者〕丸山克俊（東京理科大学名誉教授）

〔研究協議会での発言〕

- ・たくさんの方々が見に来てくれたおかげで、子どもたちのやる気につながり、少人数で実技は上手とは言えなかったが学び合い高め合う楽しい授業を発表することができた。
- ・助言者の丸山先生が研究熱心で素晴らしかったので、授業内容や言葉がけに至るまで細かく指導してくださり、授業がやりやすかった。



- ・一般的には女子が苦手とされているソフトボールであるが、基礎技能が細かく指導されていることから、女子生徒も明るく元気に活動していてとても良かった。
- ・導入の段階からベースボール型の特性を踏まえた運動を取り入れていたので、主運動の活動に移りやすくなっていた様子が窺えた。
- ・指導者が良く動けていた。キャッチボールの回数が表に表され、実際に目に見えることで生徒のやる気につながっていた。
- ・指導者の声がよく通っていた。生徒がそのリズムに乗っての授業となった。個別指導やグループ指導の中で、指導者の声がけや三つのポイントが確認できていた。

③ 高等学校

〔研究テーマ〕「運動に主体的に取り組み、自ら課題を発見し仲間と課題解決していく学習を目指して」
～ I C T を活用した課題発見・課題解決～

〔公開授業〕 学年：3年生

領域：球技 単元名：「バドミントン」

〔助言者〕 福吉麻実子（高知県教育センター指導主事）

〔研究協議会での発言〕

- ・生徒間での学び・関わりが見られた。本時の目標が明確で、そのための仕組みが見られた。
- ・ただ、映像を見るのではなく、着眼点を指示し助言ができていた。
- ・映像を用いることで、自分たちの課題に気づき、改善のための練習方法を見つけることができていた。出来ていないグループには教員が間に入って、助言・指導を行う必要がある。
- ・学習カードのコート図が上手く活用されていた。
- ・映像は記録として残っているのがポイント。自分自身の成長がわかるツールとして今後を活用してほしい。
- ・課題に気づき、改善のための練習方法を見つける一つの手立てとして、タブレットの活用があることの確認ができた。
- ・守備面だけでなく、攻撃面も合わせて指導できれば、さらに良かった。



3. 平成29年度の研究大会の紹介

日 程	平成29年11月24日（金）
会 場	午前：高知市総合体育館（高知市大原町158番地） 午後：高知会館（高知市本町5丁目6-42）
研究主題	「運動好きな児童・生徒を育てる楽しい体育授業の創造」 ～一人ひとりの運動への親しみ方の実態を踏まえて～
内 容	・ 研究主題に沿った提案授業 小学校 学 年：3年生 領 域：体づくり運動 単元名：「多様な動きをつくる運動」 中学校 学 年：2年生 領 域：ダンス 単元名：「現代的なリズムのダンス」 高等学校 学 年：1年生 領 域：体づくり運動 単元名：「体力を高める運動」 ・ 分科会 ・ 特別企画（講話）「土佐の体育人からのメッセージ」